

# ROYAL CONCERTGEBOUW ORCHESTRA



CONCERTGEBOUW ORCHESTRA

## ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団



指揮: **マリス・ヤンソンス**  
Mariss Jansons, *Conductor*

ヴァイオリン: **ギル・シャハム**(11/16・20)  
Gil Shaham, *Violin*

アルト: **アンナ・ラーソン**(11/22)  
Anna Larsson, *Alto*

〈東京公演〉

2010年  
11/20(土) 19:30

Saturday, November 20, 2010 at 7:30 p.m. Suntory Hall

ロッシーニ: オペラ「ウィリアム・テル」序曲  
Rossini: Opera "Guillaume Tell" Overture

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64  
Mendelssohn: Violin Concerto in E minor op.64  
ヴァイオリン: ギル・シャハム

ブラームス: 交響曲第4番 ホ短調 op.98  
Brahms: Symphony No.4 in E minor op.98

11/22(月) 19:00

Monday, November 22, 2010 at 7 p.m. Suntory Hall

マーラー: 交響曲第3番 二短調  
Mahler: Symphony No.3 in D minor

アルト: アンナ・ラーソン  
合 唱: 新国立劇場合唱団/TOKYO FM少年合唱団

### サントリーホール

[両日共] S ¥29,000 A ¥24,000 B ¥19,000  
C ¥14,000 D ¥ 9,000 プラチナ券 ¥34,000



〈京都公演〉 京都の秋 音楽祭

2010年  
11/16(火) 19:00

### 京都コンサートホール

Tuesday, November 16, 2010 at 7 p.m.  
Kyoto Concert Hall Main Hall

ロッシーニ: オペラ「ウィリアム・テル」序曲  
Rossini: Opera "Guillaume Tell" Overture

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64  
Mendelssohn: Violin Concerto in E minor op.64  
ヴァイオリン: ギル・シャハム

ブラームス: 交響曲第4番 ホ短調 op.98  
Brahms: Symphony No.4 in E minor op.98

S ¥24,000 A ¥21,000 B ¥17,000 C ¥10,000

[京都コンサートホール会員]

S ¥21,600 A ¥18,900 B ¥15,300 C ¥9,000

※C席の販売はお一人様2枚まで

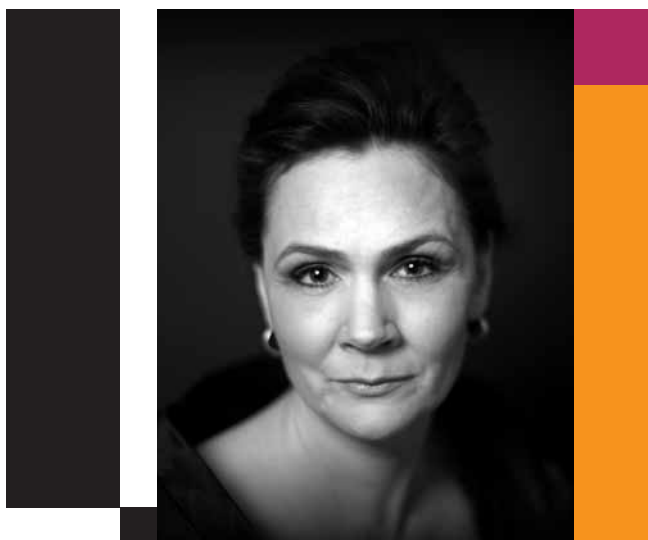
※車椅子席(12席):10,000円(会員9,000円)



**Mariss Jansons, Conductor**



**Gil Shaham, Violin**



**Anna Larsson, Alto**

## ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団 ROYAL CONCERTGEBOUW ORCHESTRA

1888年創設。初期の首席指揮者、ケスとメンゲルベルクのもと、黄金時代を築き上げ、以後もヴァン・ベイヤム、ハイティンクの指導と多彩な客演指揮者たちの手で、柔軟性に富む超弩級のオーケストラに磨き上げられた。

創立100周年の1988年に女王から「王立」の称号を贈られた。2004年9月にマリス・ヤンソンスが首席指揮者に就任。

創設当初から同時代の作曲家たちと密接に関わり、時代をリードしてきた。録音も膨大で1100点にも及ぶ。

## マリス・ヤンソンス(首席指揮者) Mariss Jansons, Chief Conductor

1943年ラトヴィアのリガ生まれ。レニングラード音楽院で学び、スワロフスキーとカラヤンにも師事。1971年カラヤン・コンクール入賞。1973年から長年にわたりレニングラード・フィルの準指揮者を務める。

1979年から2000年までオスロ・フィルの音楽監督として手腕を発揮し、1997年からはピッツバーグ響の音楽監督も務めた。

2004年9月ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の首席指揮者に就任。2003年からはバイエルン放送響の音楽監督も兼任する、世界でもトップ指揮者の一人。

膨大なレコーディングの数々が国際的な賞に輝いている。

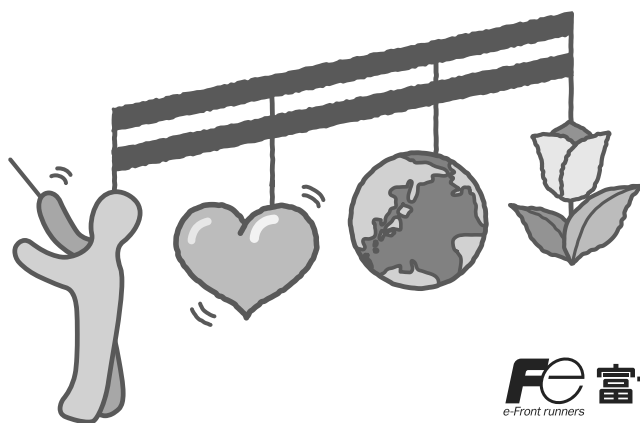
## ギル・シャハム(ヴァイオリン) Gil Shaham, Violin

1971年生まれ。巨匠アイザック・スターンやヘンリック・シェリングから「神童」と評される。世界各地のオーケストラや音楽祭から招かれ、録音もアバド指揮ベルリン・フィル、ブーレーズ指揮シカゴ響などとの協奏曲からリサイタル・アルバムまで数多い現代屈指のヴァイオリニスト。2009年ロンドンのウィグモアホールでバッハの無伴奏プログラムを演奏し絶賛される。使用楽器は1699年製ストラディヴァリウス《ポーリニャック夫人》。

## アンナ・ラーソン(アルト) Anna Larsson, Alto

ストックホルム・オペラ学校で学ぶ。1997年アバド指揮ベルリン・フィルのマーラー「復活」で国際的にデビュー。ヘンデル「メサイア」から現代作品まで世界一流のオーケストラ、指揮者と共演、特にマーラーの解釈には定評がある。オペラもワーグナー「ニーベルングの指環」のエルダ役をはじめ高く評価されている。深く豊穡な声をもつ現代でも最高のアルトの一人。

動を感じながら  
人と自然の豊かなハーモニーを奏でてまいります。



**FE** 富士電機  
e-Front runners